

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		中央公民館事業費〔五館合同事業〕									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	事業番号	1			
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	中央公民館 課 事業					係	課長名	伊藤 智			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1-2 - 5-3			
【施策名】生涯学習の充実、共に支えあう地域社会の確立							総合計画書 (ページ)	35、110			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				市の人口【4月1日】						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。【簡潔に】				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
この仕事の目的	地域で、学習の場に参加できる。				五館合同事業参加者						
	→										
	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤こうみんかんだよりの発行				①夏休みみんなでつくる遊空間開催回数 ②市民大学(前期)開催回数 ③市民大学(後期)開催回数 ④ここがふるさと・東大和の魅力発見発信し隊開催回数 ⑤公民館のつどい開催回数 ⑥五館合同交流会開催回数 ⑦こうみんかんだよりの発行 ⑧障害者青年教室開催回数 ⑨地域デビューパーティー開催回数 ⑩五感活用うどん講座 ⑪ヒガシヤマト未来大学をいっしょにつくりませんか? ⑫ヒガシヤマト未来大学開催回数 ⑬デジタルアーカイブ講座開催回数						
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標	令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294					
	成果指標	②の数値	人	2,339	1,349	683					
	目 標	②の目標値	人	2,614	2,339	1,349					
		目標値設定の考え方 コロナ禍における利用者の活動の自粛や事業の縮小を踏まえて、前年度の数値を維持する。									
	活動指標	③の数値	回	①	31	①	32	①	25		
				②	0	②	0	②	0		
				③	0	③	0	③	0		
				④	0	④	0	④	0		
⑤				0	⑤	0	⑤	0			
⑥				2	⑥	0	⑥	1			
⑦				6	⑦	6	⑦	6			
⑧				11	⑧	12	⑧	11			
⑨				0	⑨	1	⑨	0			
⑩				0	⑩	0	⑩	0			
⑪				0	⑪	0	⑪	0			
⑫				4	⑫	1	⑫	0			
⑬				0	⑬	0	⑬	0			
3 経費	事業費(実績)		円	8,050,175	637,844	939,294		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)			
	財源	一般財源	円	8,050,175	619,844	939,294					
		特定財源(国・都・他)	円	0	18,000	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	3.75	3.25	3.3					
		所要人数(再任用)	人		0.5	0.5					
職員人件費(再任用以外)		円	31,162,500	27,235,000	26,812,500						
	職員人件費(再任用)	円		1,980,000	2,015,500						
	事業費+人件費	円	39,212,675	29,852,844	29,767,294						
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成16年度								
	(2) 環境の変化										
	①新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの開催時期の変更や参加人数の削減を余儀なくされた。②③30年度にヒガシヤマト未来大学にリニューアルのため、29年度をもって事業廃止。④3年間の事業期間が終了したため、平成29年度をもって事業廃止。⑤平成28年度廃止。⑥平成26年度から年2回。⑦30年度にリニューアル。⑧平成27年度は中央事業、28年度は5館合同、29年度からは中央事業として継続実施。⑨産業まつりと同時開催。⑩自主グループ化し、五館合同事業としては終了。⑪ヒガシヤマト未来大学へのリニューアルに向けた企画委員養成講座のため、平成29年度をもって事業終了。 平成31年度より「3経費」の計上方法を変更した(「中央公民館事業」に経費を一括して計上していたが、「中央公民館事業」「中央公民館施設管理」「公民館運営審議会の開催」「五館合同事業」にそれぞれ計上するようにした(人件費を除く))。										

事業名称		中央公民館事業費 [五館合同事業]			
担当部署・課長名		中央公民館	課	事業	係 課長名 伊藤 智

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、開催の延期や中止を余儀なくされた。また、感染症の拡大防止のため事業の参加者人数を大幅に削減する必要がある、事業に参加できないという意見があった。				
	6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
☒ 取り組んだ		取組手法：②③⑥			
☐ 取り組まない		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 協働事業は、増加傾向にある。少しずつ自主化への道をつけていき、新規事業取組への余裕をつくる必要がある。					
7 課 題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） ・ヒガシヤマト未来大学の充実と、自主活動に向けた取組の検討 ・「公活パーティー」の更なる充実				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 ・ヒガシヤマト未来大学及び公活パーティーについては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い事業実施できなかった。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） ・ヒガシヤマト未来大学の今後の運営について、メンバーと職員で方向性を明確にする必要がある。 ・「公活パーティー」については、事業分析による「廃止事業」に該当したことから、廃止となった。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：生涯学習の充実、共に支えあう地域社会の確立 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・ヒガシヤマト未来大学の運営については、公民館職員が適切な助言・支援を行う。 ・「公活パーティー」については、事業分析による「廃止事業」に該当したことから、廃止とする。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・ヒガシヤマト未来大学のメンバーと職員でコミュニケーションを密にするとともに、必要な知識を身につけ、メンバーに還元する必要がある。 ・効果的な事業方法を、他市の先進事例等を参考にし、研究する。 ・コロナ禍における事業開催の方法を検討、研究する。				